

計画書にはどんな事例が載っていますか？

計画書には、全部で9つの相談事例があります。今回の概要版では中ページに相談1と相談8を掲載しています。



| 基本理念 | 長期的な取り組み目標 | 5年間の取り組み目標 | 相談事例 |
|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------------|---|
| 今ある支え合いを大切にし、更なる地域福祉の輪を広げます | 地域でのつながりを深め、顔の見える関係をつくりましょう | 災害時の備えを通じて、地域でのつながりを深めていきましょう | 大雪の時に助け合うことができました。これを広げていくにはどうしたらいいの？ 相談1 |
| | | 孤立する高齢者がいない地域にしましょう | 隣に住んでいるお年寄りのことが心配です。私にも何かできますか？ 相談2 |
| | | 支え合いの組織が継続する地域にしましょう | 支え合いの組織を作りましたが、今後も組織を続けていけるか不安です。 相談3 |
| | 生きがい・やりがいを通して人とのつながりを維持しましょう | あなたの趣味や特技を活かして、市民活動・ボランティア活動を始めましょう | 人の役に立ちたいけれど、何から始めればいいのか？ 相談4 |
| | | 情報共有・相談をしながら、市民活動・ボランティア活動を続けましょう | ボランティア活動を続けていきたいです。どうしたらいいですか？ 相談5 |
| | 皆で支え合うために必要なことを考えましょう | 障がいや病気の有無に関わらず、地域の人と支え合いながら生活しましょう | 障がいをもって生活することについて教えてください。 相談6 |
| | | 一人一人が支え合いの一員になり、支え合いの輪を広げていきましょう | 誰にでもできる支え合いってありますか？ 相談7 |
| | 地域福祉の基盤を作りましょう | 自分にできる支え合いを見つけましょう | 支え合いの大切さはわかるけど、自分のことで忙しく何もできません。 相談8 |
| | | 社会福祉協議会と一緒に支え合いの輪を広げましょう | 社会福祉協議会って何をしているところなの？ 相談9 |

ささえあい活動を一緒に始めませんか

平成29年度

平成27年度～平成31年度

小諸市地域福祉活動計画(第1次) 概要版



この概要版は、地域福祉活動計画の広報と共に、各地区や学校などでの支え合いを考える場面で使える材料になることを目指しています。

支え合いを
みんなで考えています

社協は今後も多くの皆さんと学習会を行い、支え合いについて考えていきたいと思っています。

こんな時に社協を呼んでください！

- ・ 小中学校での福祉体験学習など「自分の周りの支え合い」について考える時
- ・ 1人暮らし高齢者への支援や、災害時の支え合いなど「区内の支え合い」について考える時
- ・ 企業や団体などの皆さんが「自分たちができる支え合い」について考える時

この計画書はここにあります！

小諸市社会福祉協議会 (小諸警察署南側)

〒384-0006 小諸市与良町6丁目5番1号

電話 0267-25-7337 FAX 0267-25-5332

E-mail k-syakyo@ctknet.ne.jp URL <http://www.k-syakyo.org/>

活動計画本冊子



概要版は毎年度はじめに発行しています

小諸市社会福祉協議会

相談 1

大雪の時に助け合うことができました。
これを広げていくにはどうしたらいいの？



地域の方からの声

住民アンケートの「ご近所づきあいに満足していますか」の質問に対して57%の方が「満足」あるいは「どちらかといえば満足」と答えています。その一方で「住みやすい小諸市にするために必要なこと」の質問に対して9%の方が「防災訓練」と答えています。

住民・団体意見交換会において、今までは災害が少なかったけれど、今後、災害が起きれば心配という声もあります。

ここがポイント！

- ・小諸市は災害が少ないことから災害に対する意識は低いようです。
- ・日常的な支え合いが災害時の支え合いにつながります。
- ・普段からのご近所との付き合いや防災訓練などを通し、ご近所の状況をお互いに知り合い、いざという時に備えることが大切です。
- ・災害時等住民支え合いマップに情報を落とし込むことは、区内の状況を知る有効な手段の一つです。

この5年間の取り組み目標

災害時の備えを通じて、地域でのつながりを深めていきましょう

この5年間の取り組みのために

社会福祉協議会は

区を中心とした住民の方々と共に、災害時に備えた支え合い意識が高まるように、災害時等住民支え合いマップの作成・更新および活用に向けた話し合いの場を作ります。

私は



に取り組みます。

私たち地域は

に取り組みます。

相談 8

支え合いの大切さはわかるけど、自分のことで忙しく何もできません。



地域の方からの声

住民アンケートでは、「福祉」という言葉の印象や、「自分にできる支え合い」について聞きました。「福祉」という言葉から「お互いに支え合う」「困っている人を助ける」「みんなが幸せになる」という印象を受ける方が多くいました。また「自分にできる支え合い」は、区の行事への参加や隣近所の見守り活動を挙げる方が多くいる一方、自分のことで精一杯という方が26.1%います。住民・団体意見交換会では、「支え合い」を地域の方々や社協と共に考えたいという声があります。

ここがポイント！

- ・わたしたちは普段意識していませんが、支え合いはとても身近なものです。大切なことは、一人ひとりが支え合いを意識して、無理のない範囲でその支え合いを続けることです。
- ・忙しいあなたがこのページを開いたことが、支え合いを意識する第一歩となります。

この5年間の取り組み目標

自分にできる支え合いを見つけましょう

この5年間の取り組みのために

社会福祉協議会は

区を中心とした住民の方々と共に、自分なりの支え合いを見つけるために、本計画書を活用した意見交換の場を作ります。また、小学校や中学校と共に、児童・生徒の思いやりの心を育むための学習会を開きます。

私は



に取り組みます。

私たち地域は

に取り組みます。